

令和6年11月定例会一般質問発言通告表

| 発言 順序 | 7 | 議席 番号 | 3 | 氏名 | 仲 亀 恭 平 議員 | 1 / 1 | |
|----------|--|----------|---|----|------------|-------|---|
| 発 言 項 目 | | 要 旨 | | | | 答 弁 者 | |
| 1 | 透析患者の不安解消にどう取り組むのか～透析患者の災害対策に関して富士宮市の現状と今後の対策～ | | <p>透析治療は腎臓の代わりに、体内に溜まった老廃物や余分な水分を取り除く重要な治療法である。1回の治療で概ね4～5時間の治療時間を要し、週3回の通院を必要とする。治療時間が不十分な場合は、むくみがひどくなり、心不全や呼吸困難などの危険な症状が起こり、透析治療を中止すると、数日間～2週間程度で死亡してしまう。</p> <p>もしも、災害によって医療機関の機能が麻痺し、透析治療が中断された場合は、透析患者は生命の危機にさらされる。</p> <p>災害で透析ができなくなった時に、透析患者を守るためにどのように行動すればよいか、あらかじめ知っておくべきことや準備しておくべきことについて、伺う。</p> <p>(1) 富士宮市における透析患者の現状を伺う。</p> <p>① 人数。</p> <p>② 年齢。</p> <p>③ 性別。</p> <p>④ 分布。</p> <p>(2) 透析患者が災害時に備えるべき知識とは。(災害時要援護者透析カードの携帯や避難所での食事管理法など。)</p> <p>(3) 避難所が災害時に備えるべき対応とは。(災害時要援護者透析カードの確認や避難所での食事管理法など。)</p> <p>(4) 富士宮市の透析医療機関のうち、自家発電装置を保有している施設はどのくらいあるのか。</p> <p>(5) 透析のための水の確保について。</p> <p>① 貯水槽を確保している施設はどのくらいあるのか。</p> <p>② 井戸水の設備がある施設はどのくらいあるのか。</p> <p>(6) 医療物資の手配はどのようになっているのか。</p> <p>(7) 富士宮市内外の透析医療機関の被災状況や透析治療が受けられない患者の数を把握するための情報収集手段は。</p> <p>(8) 通院している医療機関が透析治療不可能になった場合の対応について。(近隣市町、静岡県、近隣都道府県との連携など。)</p> <p>(9) 災害時における通院移動手段について、どのように想定しているか。</p> <p>(10) 地域医療体制の充実を図っていくことが安全・安心を確保するためには重要と考えるが、市の認識を伺う。また、今後の対策はあるのか。</p> | | | | 市 長 副 市 長 教 育 長 病 院 長 関 係 部 長 |